

市民のエール、リオへ届け!! めざせ「最高峰」

藤田征樹選手(リオパラリンピック、自転車競技)

リオパラリンピックの自転車競技に出場する稚内出身の「藤田征樹選手」は北京・ロンドンでは、銀メダル、銅メダルに輝いております。市民は「今度こそ悲願の金メダル獲得」と熱い声援を送っております。(本紙が配られる頃には結果が出ているかもしれません。)

リオパラリンピックは9月7日に開幕し、自転車競技の日本代表として藤田征樹選手(31歳 日立建機(株)勤務)が、9月9日の個人追抜(MC3)競技を皮切りに、5種目に出場する予定となっております。

市民に元気を与えてくれる藤田選手の出場予定種目と日程をお知らせします。



paragraphより引用

◆競技種目

- 9月9日 個人追抜(MC3)
- 9月10日 1キロタイムトライアル(MC1-3)
- 9月11日 チームスプリント
- 9月14日 個人ロードタイムトライアル(MC3)
- 9月16日 個人ロードレース(MC1-3)

全国大会出場者の団体・個人の結果について

稚内野球スポーツ少年団 全国ベスト8の大活躍

7月16日から18日まで紋別市で開催された高円宮賜杯第36回全日本学童軟式野球大会マクドナルド・トーナメント北北海道大会で、稚内スポーツ少年団が準優勝を果たし、7月29日から徳島県で開催される「阿波踊りカップ全国学童軟式野球大会2016」への出場を決めました。

全国大会では、1回戦群馬県の小野ドラゴンズ、2回戦は滋賀県の安土少年団と対戦し、打線が爆発し5回コールドで勝ち進み、準々決勝で岡山県の西浦少年野球と対戦し、10対12で惜しくも敗れはしましたが、全国ベスト8の大活躍でありました。



全国ジュニアオリンピック夏季水泳競技大会 大日向海斗くんが全国大会で 平泳ぎ50m2位、平泳ぎ100m5位入賞の快挙!!

7月16日・17日に野幌総合運動公園で開催された第39回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会北海道予選が開催され、大日向海斗君(東中1年・稚内スイミングクラブ所属)が11歳・12歳の部の自由形50、100m、個人メドレー200mに出場して3種目で優勝しました。今年開催された大会で平泳ぎ50・100m、自由形50mの全国標準タイムをクリアし、全国大会の出場を決めました。

8月22日から東京辰巳国際水泳場で開催された全国大会では、自由形50mは75人中47位で予選落ちでしたが、平泳ぎ100m予選では48人中3位で決勝に進出し、決勝では予選と同タイムの1分9秒70で5位に入賞しました。平泳ぎ50m予選は52人中2位で決勝に進出し、決勝では自己ベストの31秒98で2位に入賞しました。

ジュニア最高峰の大会での入賞は稚内水泳界にとっての快挙であります。今後も練習を積み重ね、将来オリンピック選手になることを期待しております。



【快挙】山崎純佳さん全国高校総体水泳 競技大会に2年連続北海道代表として出場

7月1日から野幌で開催された全道高体連水泳競技大会に道内各地から強豪選手が参加して行われた大会に、稚内市スイミングクラブ所属山崎純佳さん(稚高2年)は女子背泳ぎ100、200mの2種目に出場しました。背泳ぎ100mで3位にはいり全国大会の切符を手に入れました。背泳ぎ200mでは予選より良いタイムでありましたが惜しくも4位となり出場権を逃しました。

(全国大会出場条件は、決勝で3位以上か全国標準記録突破者)

全国大会は、8月17日から20日まで広島市総合屋内プール(広島ビックウエーブ)で開催されました。山崎さんは大会2日目女子背泳ぎ100mに出場いたしました。タイムが思うように伸びず、44人中42位で予選敗退いたしました。この悔しさを今後の練習に生かしていただき、これからの活躍を期待しております。



全道大会開催のお知らせ

平成28年度 道新旗 第36回全道女子サッカー 選手権大会 兼 第38回 皇后杯全日本女子サッカー 選手権大会北海道予選

日程◆9月17日(土)~19日(月) 1回戦~準々決勝まで

会場◆稚内市若葉球技場、稚内市富士見球技場

主催◆公益財団法人 北海道サッカー協会

共催◆北海道新聞社

主管◆宗谷地区サッカー協会、札幌地区サッカー協会

後援◆北海道教育委員会、公益財団法人 北海道体育協会、稚内市、稚内市教育委員会、一般財団法人 稚内市体育協会

参加数◆17チーム、およそ250人

その他◆①準決勝・決勝は、24日・25日札幌サッカーアミューズメントパーク天然芝・人工芝を会場に行われる。

②優勝チームには、10月22日・23日に行われる第38回皇后杯全日本女子サッカー選手権大会への参加を義務付ける。



全道大会に出場する稚内高校女子サッカー部

われらスポーツ家族の輪



37 小山 昌如さん一家

家族でスポーツに取り組み、楽しんでるスポーツ家族の輪をつないでまいります。今号は、前号の「中川大輝さんから紹介のあった小山昌如さん一家」です。

■昌如(まさゆき) 中高一貫帰宅部で、就職してから知り合いに誘われて、バドミントンをしていました。最近は運動不足が気になり、時間を見つけて何かスポーツが出来たらと思っています。娘たちの影響で、市民8人制サッカー大会に参加しました。

■妻・みゆき 中学時代はバレー部で、今は知り合いのお母さんたちと時々ミニバレーをして楽しんでいます。

息子の少年団のお母さん達とサッカーフェスティバルにも参加しています。

■長女・萌(もえ) 小学4年生から最北FCでサッカーをはじめ、中学からは東中バスケットボール部で頑張っています。

■次女・芽(めい) 小学4年生から最北FCでサッカーをはじめ、今では東中サッカー部と稚内ステラマリーで頑張っています。

■長男・悠太郎(ゆうたろう) 幼稚園の年長から最北FCでサッカーを始め、今年も全道少年U-10サッカー北海道大会に出場しました。札幌ドームに行くとコンサドーレの応援をすることが楽しみです。

■昌如さんからのコメント 自身は、子供のころからスポーツをする機会があまりなかったのですが、子供達にはどんな種目でも良いのでスポーツをして欲しいと思っていました。3人も同じようなタイミングでサッカーを始められました。今は、それぞれバスケ、サッカーの練習、試合を通して技術だけでなく、人との係りなどを学んでくれればと思います。